

新潟県

公民館月報 8

平成11年8月号 通巻第558号



表紙 大潟町小学校&町民による
『おあがた夕日コンサート』
(大潟町公民館)

特集「新しい時代の青少年教育の充実
を目指した公民館活動」

視点 点 教育機能の向上とコミュニティづくり

ひろば 小さな国際化

サークル交流 みよせ (豊栄中央公民館)

絵本と紙芝居の講座 (刈羽村公民館)

素顔拝見 野沢弘子さん (十日町市)

阿部正人さん (津川町)

第50回新潟県公民館大会開催

ココロ・ふるさと六日町で 「新しい時代の青少年教育の充実を 目指した公民館活動」について

中越地区管内三町より実践発表

7月8日(木) 第50回新潟県公民館大会が、カリの本場六日町の地であることもあって、ココロ・ふるさと六日町文化会館を会場に、参加者七百十余名という多数の参加者で、大盛況に開催された。

南魚沼の地での久しぶりの開催であり、また、霊峰八海山、上杉謙信ゆかりの坂戸城跡、トミオカホワイト美術館、そして魚沼コシヒ

定刻どおり午前9時30分開会。加藤英子さん(六日町図書館)のダイナミックな総合司会によって開会式の幕が開かれた。

田村浩一 中越地区公連会長の閉式の言葉、今



永年勤続者表彰(今井会長から小高代表へ)



井昭友会長による主催者挨拶、ご多忙の中魚沼の地においでいただいた宮沢稔新潟県教育次長様の共催挨拶に続いて表彰式に移った。優良公民館表彰は、今年度該当なく、永年勤続表彰者は十三名(氏名既報)が受賞した。

なお、受章者を代表して、長岡市太田公民館主事の小高友一様が謝辞を述べられた。引き続き来賓の祝辞に移り、新潟県公民館振興市町村長連盟会長代行代理・新潟県町村長会副会長(小国町長) 牧野功平様の祝辞、地元六日町長小宮山孝義様の歓迎のことばで開会式を終了した。

その後、一時間五十分をわたる大会サブテーマ「新しい時代の青少年教育の充実を目指した公民館活動」について家庭教育、青少年育成、学社連携・融合推進の立場で、中越管内三町の公民館・学校関係者から実践事例

を発表していただいたが、具体的な内容に基づくもので、大変好評であった。詳細は、四、六面の特集欄を参照されたい。昼食後のアトラクションは、地元が誇る、歴史と伝統あふれる御実城太鼓が演奏され、参会者に大きな感銘を与えた。午後の記念講演は、「これから公民館の在り方―障害学習・青少年教育の方向から―」と題して、新潟大学教育人間科学部教授齋藤勉先生から具体的な体験に基づいたユニークでしかもユーモアあふれるお話で、終始参会者の関心を引きつけるに十分であった。

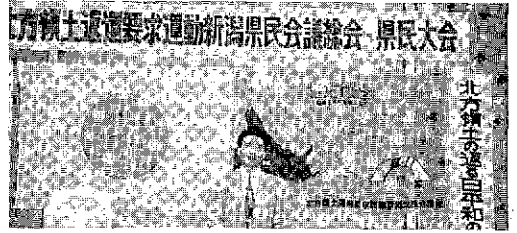
見附市公民館設置50周年記念公民館大会

「Think globally, Act locally.」(地球規模で考え、地域社会で実践しよう)
―地域に根ざす公民館の今日的意義と未来を考える―

- 期 日/平成11年9月17日(金) 午後12時30分開場
- 会 場/見附市中央公民館
- 日程と内容
- 1:00~1:35 エキジビション(公開遠隔地コーラスグループTV電話交流 亀田町と見附市間→)
- 1:35~1:50 オープニング(オカリナ演奏)
- 1:50~2:10 開 会 式
- 第1部 「生涯学習ボランティア養成講座」実践報告
- 2:15~2:30 「子育て劇をつくってみよう」―第5期生涯学習ボランティア養成講座1年間の取組―
報告者:平原富江さん(第5期生涯学習ボランティア養成講座受講生)
- 2:30~2:50 子育て劇上演
出演者:第5期生涯学習ボランティア養成講座受講生のみなさん
- 2:50~3:00 休 憩
- 第2部 パネルディスカッション
- 3:00~5:00 「市民の新たな学習創造にかかわる公民館の役割と可能性」
パネラー:井上 満夫さん(学習ボランティア「実生の会」代表)
堀 河一郎さん(国学院大学教授)
松本十三雄さん(元見附市社会教育課長)
吉沢真知子さん(今町公民館事業推進員)
- 司 会:高木 衆一(若港公民館館長)
- 5:00~5:05 閉 会 式
- 参加申込/見附市中央公民館(〒954-0053見附市本町2-5-9 0258(62)1058)
- 主 催/見附市教育委員会、見附市公民館連絡協議会

北方領土返還要求運動県民会議

平成11・7・10(土) 新潟市白山会館



平成11年度北方領土返還要求運動新潟県民会議の総会・県民大会が、去る7月10日(土)新潟市白山会館で開催された。

議事は、平成10年度事業報告並びに決算、次いで平成11年度事業計画並びに予算、そして最後に役員改選について提案され、原案どおり可決承認された。

今年度の特徴は、例年より一カ月近く早い開催期日でありながら、構成団体への案内文書の送達が遅れたせいか、参加者の数が少なく、盛り上がりは欠いていた。

また、'98年4月の川奈における日首脳会談以降大きな進展を見せていない現状も、その要因になっているかも知れない。

記念講演では「正念場の日ロ平和条約交渉」と題して、外交評論家の澤英武様が、モスクワ特派員時代の豊富な体験をお話して、ロシア外交のしたたかさや日本外交の受け身の対応が、プラス要素での進展を阻んでいることを、具体的な事例を示しながら話されていた。

当会からは、今井会長、鈴木事務局長が多忙の中、出席した。

視点

社会の急激な変化が、行政改革へのテンポを促す大きな要因となった。平成七年に制定をみた「地方分権推進法」十年の「特定非営利活動促進法(NPO)」の成立はそのことを如実に物語っている。

長岡市でも行財政改善推進計画の重点施策の一つに「コミュニティセンター化構想：すなわち既存の地域施設(公民館・児童館・福祉センター)を一体化して地域のコミュニティ

教育機能の向上と

コミュニティづくり

田村 昭

B地区・上川西、C地区・青葉台の二地区に指定、その取組みが始まったところである。「コミュニティ」を、一口で言うと「魅力ある地域社会形成の基礎単位」となる。

取組み、自分達の生活や地域を、豊かに充実した潤いのあるものにしていくための活動」をさす。

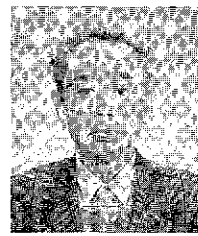
昨年来、当地区民が白葬的に取り組んだ「四郎丸地区教育環境づくりを考える会」の活動自体、今求められる家庭・学校・地域の教育機能の向上への取組みでもあり、まさにコミュニティづくりそのものと考えている。

その「活動」となれば「地域住民や地域の各種団体・機関が日常生活の中で世代の枠を超えて交流を深め、力を合わせて地域の問題を始めとする諸問題に

ティセンターとし、その多目的活用を図る」ことが強調されている。市では、十一年度より「コミュニティ活動推進事業(試行事業)」を、A地区・四郎丸、

小さな国際化

新井市公民館運営審議会委員 安藤喜悦



私たちが新井市の南部に位置した人口

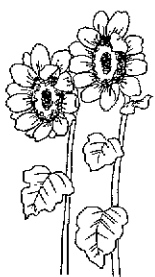
加してもらえよう、年三回発行の機関紙や、市の広報でPRに努めています。

新井市では今年秋、ヨーロッパの小国「スロベニア国」と文化交流を中心とした「スロベニアのフェスティバル」を開催。児童、生徒の絵画交換会、民族舞踊団の講演、お互いの特産品である「そば料理」の交流会など、新しい国際交流の芽が育とうとしています。

ひろば

スロベニアとの交流も、新井スキー場が同国のオリムピックスキー選手と技術アドバイザー契約を結んだのがきっかけとか聞いています。

まだまだ小さな事業ですが、生涯学習の一環として大きく羽ばたいてくれればと思っています。



実施期日と各保育所参加者数

☆堀之内保育所 (保護者数124人)	平. 10. 6. 6	30人
	平. 11. 2. 20	34人
☆城下保育所 (保護者数31人)	平. 10. 6. 10	25人
	平. 11. 2. 17	24人
☆宇賀地保育所 (保護者数63人)	平. 10. 6. 23	22人
	平. 11. 2. 24	23人
☆田川入保育所 (保護者数36人)	平. 10. 5. 29	20人
	平. 11. 2. 10	12人

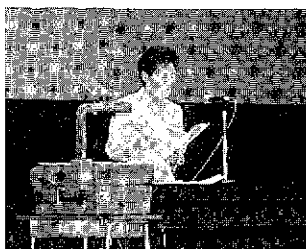
充実を目指した公民館活動』

より

実践事例発表の概要報告その1

生涯学習社会に生きる子どもたちを育成するために、行政をはじめ、学校教育機関や地域社会等が積極的に支援を行い、子育てを「学び」、「子育てを「楽しみ」、子育てを「再発見する」、ことができるような学習の機会を提供する事業です。

子どもの発達段階に対応した内容のプログラムの充実と、親同士の交流を深める場づくり、子育ての悩みや、心配事を本音で話し合える雰囲気づくり等を



1、はじめに「親子共育21(年)に託す人づくり」子どもにとって家庭は、生活の場であり、人間として生まれてから初めて受ける教育の場です。家庭教育は人間形成の基礎であり、土台です。

平成8年に策定された生涯学習推進計画の中で、「特色ある生涯学習の推進」を掲げ、その中の一つとして、家庭教育の充実・支援(親子共育21)の事業を計画しました。

心がけながら実施しています。2、堀之内町の概要(省略)3、事業の概要「お母さん方の考えがわからない。子育ての仕方を知らないのでは？」4月のある日、保育所長さんから保育所での悩みを打ち明けられました。このままでは子どもたちはどうなっていくのか、という思いが強く感じられ、同じ危機意識を抱いている公民館担当者とその場で即決して、10年度の「家庭共育セ

の相談ののつてくれる講師を派遣する。⑥親同士の共通認識や交流が得られる場にしていく。4、まとめ夜の時間を設定し、保育所を会場にして実施した家庭共育セミナーを通して、現代の子育ての難しさが見えてきました。価値観の多様さによる子育ての考え方の違いやあふれる情報に惑わされる生活。生活に追われ時間的な余裕の無い中での子育ては、親にとっても子どもに

セミナーがその一つになればと願いながら、親の立場に立った事業内容にしていきたいと考えています。(1) 事業の成果①セミナーの会場を各保育所毎に設置したことにより、保護者への連絡、参加依頼等の部分を保育所から協力していただくことができ、子育て支援に対する教育委員会と保育所の共通理解が進んだ。②保育所単位の会場であったことにより、参加者同士に親近感があり、和やかな雰囲気運営できた。③参加者と講師の話し合いの時間を多く設定したことで、参加者全

子育ての重要さを考えよう

「親子共育21(年)」の実践から

堀之内町公民館

係長 横山 史子

ナー」が始まりました。事業を実施するにあたり、進め方や内容について保育所側からの希望を聞き、親の参加しやすいような時期、時間、場所等を検討しました。そして、次のことを心がけながら実施していくことを確認しました。①対象は4保育所の保護者、保母とする。②入所間もない時期の5〜6月とする。③会場は、保育所毎にし、夜の時間とする。④子育てに関する親の考えが聞け、悩みや不安が本音で語り合える雰囲気を作る。⑤親、保母

とっても、大変なことだと感じます。参加者の殆んどが母親でしたが、日頃の不安や不満が発言できたことで、ストレス解消の場にもなりました。また、同じ悩みを抱えている人がいるということを知ったことで心が軽くなり、新しい交流も始まりました。子育てにはマニュアルはありません。それぞれの家庭で見つけていかなければならないのです。そのためには、親や家族が「子どもを育てる」ことの大切さに気付く場を作っていくことも必要です。この家庭共育

①父親の参加、夫婦での参加を得るにはどうしたらよいか。実施時期、時間等を考慮していく必要がある。②親子でふれあいがら学ぶ場を考えていくことも大切である。③親同士の輪を広げていくための支援、子育てに関する相談体制の充実を促進するためには福祉課・学校等各機関の連携を図っていかねればならない。

◎教室内容(全10回)参加者数150名 講師数47名

教室名	対象者	主な活動場所
和紙教室	小学1年生~	小国和紙生産組合
自然歴史教室	小学1年生~	町内の史跡名所
芸術体験教室	小学1年生~	就改センター他
料理教室	小学1年生~	農環センター
パソコン教室	小学1年生~	小国中学校
バドミントン教室	小学3年生~	洩海小学校
ミニバス教室	小学4~6年	上小国小学校
卓球教室	小学3年生~	農環センター

特集

『新しい時代の青少年教育の

第50回新潟県公民館大会

1、活動の基本方針

小国町では、学校週5日制の実施にあたり、「体験活動をととした子ども達の主体性の伸張」、「家庭と地域の協力体制のあり方」、「地域の指導力を生かす方策」について検討してきた。その基本的考え方は次のとおりである。

・地域における学校外活動の充実

・家族や仲間とのつながりの大切さに気づかせ、楽しさを実感できる

・学校の提供

・地域間・世代間・を超えた

・交流活動の推進

・自然・環境・文化への関心を養う体験

・学校・地域指導者・保護者の協力体制の推進

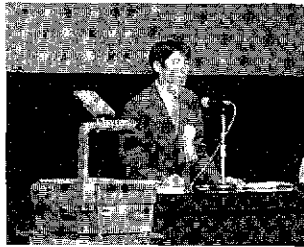
このような考えに基づいて、平成7年から「地域で育てる小国っ子」をスローガンとした青少年事業に取り組んでいる。

2、事業取組の経緯(省略)

3、家庭・地域社会・学校との連携・協力体制

家庭との連携

事業終了直後、新年度のア



ンケート調査を実施

内容、日程、運営方法を協議し、子ども・保護者の意見を反映させる。

② 教室ごとに保護者を組織し、連絡・指導者補助等の協力体制を整える。

(2) 学校との連携

① 学校施設・設備の活用(パソコン教室・体育館・グラウンド)

② 指導者の派遣・支援

③ 教育委員会と家庭との連携事務に関する支援

地域で育てる小国っ子

—小国町ウィークエンド教室—

5年間の取組から—

小国町中央公民館

社会教育主事 渡 辺 一 浩

(3) 生涯学習フェスティバル、作品展の開催

フェスティバルや作品展でウィークエンド教室の体験発表や座談会、パネル展示を行い、教室の内容を紹介しながら学習成果を発表する。

5、事業の成果と今後の課題

(1) 事業の成果

① 生活体験や自然体験活動、異年齢間交流の活動により、「魚はとれなかつたけど楽しかった」(自然歴史探検教室)、

(4) 民間団体との連携

和紙生産組合や商工会、NTTからの指導援助

4、活動の情報提供と啓発活動

(1) 生涯学習情報紙「ふれあい」への掲載

より多くの人にこの事業を知ってもらい、理解と協力さらに参加を得るために、学校週5日制のねらいやウィークエンド教室の内容について紹介し、地域で育てる小国っ子という気運の高場に努める。

(2) 活動記録集の発行

各種教室の感想文、アンケート結果、指導者の感想、写真などをまとめた記録集を作り配布する。

(3) 5年目を迎え、町内の小・中学校、保護者が積極的に運営にあたり、小国の子どもをみんな育てるという意識が

うかがえる。

(2) 今後の課題

① スポーツ系教室については、ウィークエンド教室とは別に行われている教室

との調整を図り、スポーツクラブ形式での取組を検討する。

② 生活体験、自然体験、創作体験など幅広い活動、特色ある事業ができるよう地域指導者の発掘・育成に努める。

③ 冬期間にも実施できる教室を検討する。

④ 地域による参加者数の格差が生じないよう、会場の分散化や運転ボランティアによる子ども達の送迎を検討する。

実践事例発表の概要報告 その2

1、津南町の概要 省略

2、学校支援ボランティアとは

(1) 今、なぜ学校支援ボランティアなのか

○子どもを取り巻く環境

「生きる力」が今の子どもたちに必要だと言われています。年齢相応に体験すべきことを自ら体験することによって初めて伸ばすことができる「生きる力」。体験は子どもが「生きる力」を伸ばしていく最も大切な「素材」です。子どもが体験する場は、「家庭」「学校」「地域」と大きく分けて3つあります。

○社会の要請

2002年に学校週5日制が完全実施されると、子どもの在校時間は確実に減ります。現在の学校は、子どもの教育についてあまり多くの事柄を引き受け、家庭や地域から子どもを遠ざけてしまいました。

これからは、学校・家庭・地域が子どもの教育についての共通理解を図り、新たな関係を再構築していく必要があります。

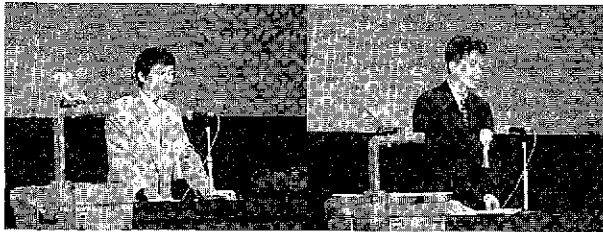
★多忙を極める学校教育の支援

★子どもたちが様々な体験活動を受ける機会の増加

★ボランティア自身の生涯学習(学習成果の評価と活用)

(2) 津南町における学校支援ボランティア派遣制度

津南町では、予めボランティアを募集・登録して実施している制度ではありません。もちろん



(新井智普教頭)

(大島一英主事)

学校支援ボランティア制度の現状と課題

津南町教育委員会生涯学習課
派遣社会教育主事 大島一英
津南町立上郷小学校
教頭 新井智普

きる。津南町には奥ゆかしい町民が多いのです。

・学校の人材バンクには学区内の貴重な情報が満載。これを活用しない手はありません。

1校何回という規定はありません。必要なときに必要な人数を申請していただいています。ただし、1ヶ月に同じ人が6回以上派遣されることはできません。できるだけ多くの方をボランティアとして派遣したいからです。

です。

ボランティアが派遣されると、その人に対して交通費・事前準備費という意味づけで、活動費2,000円を町から支給しています。

平成10年9月からスタートした同制度。昨年度は延べ62名の町民のみなさんをボランティアとして学校に派遣することができました。

(3) 平成10年度の取組 略

・町民からすれば、2種類の人材バンクがあると大変まぎらわしいと思います。

ん、これには賛否両論あるのではないのでしょうか。津南町では次のように考えています。

- 3、学校支援ボランティアの実際
 - (1) 大井平和紙保存会の皆さんとの交流
 - ① 郷土「津南」に生きる実感 略
 - ② 大井平和紙ですく卒業証書「地域の文化に学び、巣立つ子どもに思い出を!!」という願いをもとに、和紙の卒業証書作りが始まりました。しかし、和紙作りには楮切り、煮はぎ、紙すき、縁裁(えんたて)など、複雑な作業がともない、専門的な知識や技能なしでは活動を進めることはできません。そこで、大井平和紙保存会の皆さんに協力をお願いし、交流が始まりました。
- 4、学校支援ボランティア派遣制度の成果と課題
 - ◎成果
 - ・学校にもっとかかわりをもとう、という気持ちになってきている。
 - ・「子どものためだけの学校」から

- ら「大人も楽しめる学校」への変化
 - ・地域のひとふれあいが密接になることによる教育的効果
- ◎課題
 - ・ボランティアの生涯学習への自覚を促す研修
 - ・学校に行くことができない人はボランティアになれないのか
 - ・人材バンクの整備と新たな人材の発掘
- 5、これからの夢
 - (1) 2種類ある学校支援ボランティア
 - 今、津南町が制度の適用対象としているゲストティーチャー↓趣味や特技をもって人、一芸にすぐれている人等
 - アシスタントティーチャー↓算数の学習時につまずいている子を教師と一緒に個別支援
 - ・校外学習での子ども引率
 - ・図書室の整理等
 - ・テストの採点
 - (2) 学校と家庭、地域が同じ土俵に立って、腹を割って子どもたちのことを話し合える町に
 - 「共通理解を図る機会がなく、お互いがそれぞれの考え方で子どもと接している。一番困惑しているのは子ども自身なのに…」

サークル交流

楽しさを求めて

手話サークル・みよせ

五頭山麓に抱かれた豊栄市、夜もふけて三々五々、小学生から五十歳を超えた人まで公民館に集まってきました。

他のサークルの人達と挨拶をかわし、仲間一人二人集まると始める手話練習。とにかく正確に覚えなさいとだめ、筋肉も硬くなり動きも鈍くなってきましたが「みよせの会」は、とにかく楽しいサークルです。一日の疲れもストレスも、ここに来るとどこかに吹き飛んでしまうような集まりです。

サークルは、楽しさ無くして



何の集まりか、笑いの絶えない集まりを目指しています。

入会しても途中でリタイヤする人もいましたが、とにかく興味を持ってもらうことが第一と考えています。

好きになってもらうためには楽しく学ぶことが一番、面白くて学ぶことのできる生涯学習、学んだことをボランティアに繋げ、地域の役に立てればと思っ

ています。一粒の種を日指しているサークルです。
(豊栄手話サークル みよせ 富山 孝雄 記)

絵本を読んでもらう

幸せと読んであげる幸せ

刈羽村絵本と紙芝居の講座

「今の子は本を読まない。マンガやゲームばかり」とよく聞きます。読書が大切なのはわかるけど、どうしたら本を読む子になるのでしょうか。

「絵本と紙芝居の講座」は、親と子供の講座です。一緒に絵本や紙芝居の世界に触れ、楽しさを味わい、家庭での絵本の読みかせや読書に発展させていくことをめざしています。

月二回の講座ですが、乳児か



ら小学三年生までの子供が参加しています。運営は会員が当番制で行なっています。約一時間半、親も子供も「来てよかった」と思える内容にするために頭を悩ませることも多いです。講師の牧岡孝先生(相崎ひまわり塾)を囲んでのディスカッションでは、親の意識を高めています。また、最近では先生や親だけでなく、小学生が小さい子向けの絵本を読んでもいます。だれかに本を読んでもらう幸せと、読んであげる幸せを感じることでできる講座です。

今秋、私たちの村に生涯学習センター「ラビカ」がオープンし、幼児・児童図書一万五千冊が入る図書館ができます。大勢の子供たちで活気づく、生きた図書館を皆でつくっていきたいねと話しています。

(同講座代表 松栄 出里 記)

十日町市吉田地区公民館

主任 野沢弘子 さん

平成十年四月に地区公民館では二人目の女性職員として配置され、二年目に入っています。

彼女は、この地区の出身で今は隣町に嫁いでいる関係で、公民館を訪れる人が、おめさん見たことがあるのと声をかけられると、「増野屋(屋号)の娘です」と答えると、ええそうかい〇〇



かいた言うこととどんな話が弾んで行く恵まれた環境

素顔拝見

津川町教育委員会社会教育課

主事 阿部正人 さん

今年の4月、「あべまさこと阿部正人君が社会教育課にやってきました。

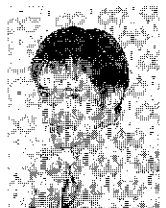
彼の素顔を紹介できるほど、その実態をつかんでいない、というのが正直なところですが、この3ヶ月でかいま見た「素顔の一部」をご紹介します。

阿部君を語るには、何といってもこのことに触れない訳にはいきません。というのは、津川町で毎年5月3日に行う、狐の嫁入り行列」の今年の主役は、何を隠そう、彼と奥様だったの

にありまして、本人の知らないことを知ってる人もいたりして複雑な状況におかれているようです。

担当業務は地区館・分館の各種教室の企画・運営。ふるさと歴史講座などをスムーズにこなしています。歴史講座の講師の話聞いて、この地に育ちながら常に新しい発見をしているみたいです。

近い将来、この地の一番の物知りとして地区公民館に無くてはならない存在となることでしょう。
(同館補佐 久保田 行雄 記)



写真のもおわかりいただける

かと思いますが、本番の時もまさに狐と化し、見事に演じ替わったそのパワーは、公民館に携わる職員として必要不可欠な資質ではないかと、同僚として非常に頼もしい限りです。また、元甲子園球児だけあり、よく響く声を持つ彼は、今後ますます各種行事で大活躍することでしょう。
(津川町教育委員会 阿部 登志子 記)

恵贈資料紹介 —平成10年度—

中社連会誌

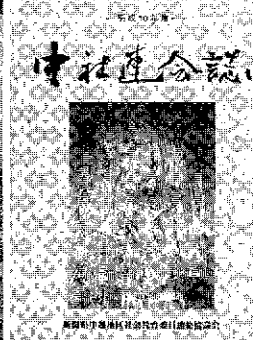
中越地区社会教育委員連絡協議会



今年も、中社連会誌
ご恵贈いただき、誠に
ありがとうございます。
平成10年度の特徴
は、第34回県市町村社
会教育研究大会兼中越
地区社教委員連絡協議会集
内容が、第一―第六分科会に
たつて報告されておること
です。大会運営に当たられた中社
連の方々のご苦労がにじみ出

おりました。

二つめの特色は、地区別研修
会が盛会裏に開催され、しかも



内容が充実しておることです。
現状の課題である学社連携・融
合、子育て支援活動、地域づく
りの問題等を探り上げ、研修を
深めておられることです。

三つめの委員の声では、それ
ぞれの委員の方のパーソナリ
ティがにじみ出た文章で綴られ
ておりますが「気をつけてね」
の寺泊町の委員さんの哲学に
は、共感を覚えました。

平成11年度全日本ユースラリー

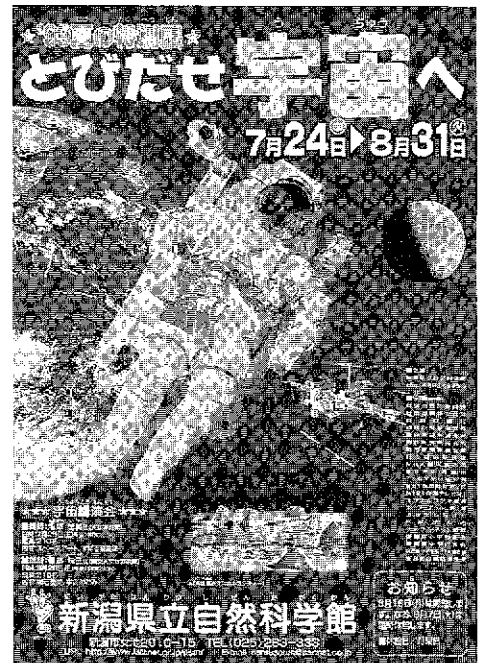
第18回全国ユースホステル研究集会



後援 新潟県公民館連合会

◎第1日目、9月11日(土)の記念講演「旅と私」
NHKアナウンサー石井かおる氏は一般市民の
方に無料公開予定です。
多数の方の参加をお待ちしているそうです。
連絡先 025-222-1789

平成11年8月催物案内



あとがき

◇第50回県大会も、南魚六日町
で大盛会の内に終了させて頂いた
できました。大会関係者も含め
ると七百十余名となり、大会資
料も増刷させて頂きました。

表紙解説

大潟町小学校&町民
による「おおがた夕日」
コンサート

コンサートは今年で10回
目。砂浜を埋めた父母の待
つなか全員合唱「ねえ歌お
う」でオープニング。70人
の児童の元気な歌声が夕日
海岸に響いた。

(大潟町公民館)

内容も大変充実していた、と
の声しきりで、地元南魚沼郡公
連の方々も大変喜んでおりまし
た。ここに井口優委員長さんは
じめ、実行委員会の皆様様の献
身的なご努力に、心より感謝申
し上げます。ありがとうございます
(鈴木 記)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共・年極1,800円】